

第4回平塚市社会教育委員会議 次第

令和7年1月21日(火)
平塚市博物館 講堂
司会：社会教育課長

1 議長あいさつ

2 議事

(1) 博物館の連携事業等について

(2) テーマ協議

(3) その他

- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会関係

(4) 今後の会議予定について

- ・第5回会議 令和7年6月4日(水) 14時45分から 平塚市美術館

【配付資料】

- ・次第および会議資料(ホチキス止め)
- ・平塚市博物館 施設及び運営状況
- ・各種情報紙(きいふ、あなたと博物館)
- ・社教連会報No.95(委員のみ)
- ・令和6年度平塚市公民館要覧(委員のみ)

令和6・7年度
平塚市社会教育委員会議

第4回定例会議

令和7年1月21日（火）

平塚市博物館 講堂

令和6年度 平塚市社会教育委員 会議等予定表

日時	会議名	会場	対象
5月13日(月)	県社教 理事会①	総合教育センター	県理事
6月5日(水)	定例会議①	平塚市役所(410会議室)	全員
6月10日(月)	県社教 総会	総合教育センター	県理事
7月23日(火)	定例会議②	平塚市役所(619会議室)	全員
9月2日(月)	県社教 研修会	総合教育センター	県理事および 希望者
10月7日(月)	県社教 理事会②	総合教育センター	県理事
10月22日(火)	定例会議③	平塚市中央図書館(ホール)	全員
10月23日(水) ~25日(金)	全国社会教育研究大会兼関東甲 信越静社会教育研究大会(茨城大 会)	水戸市民会館	
11月2日(土) 午前	県社教 地区研究会(海老名市)	海老名市文化会館	県理事および 希望者
1月21日(火)	定例会議④	平塚市博物館	全員
2月4日(火)	県社教 地区研究会(大磯町)	大磯プリンスホテル	県理事および 希望者
2月13日(木)	教育長及び教育委員との意見交 換会	平塚市役所(教育長室)	議長、副議長
3月18日(火)	県社教 理事会③(午前) 関プロ神奈川大会実行委員会 (午後)	総合教育センター	県理事

議事（２）テーマ協議

テーマ：「社会教育施設（図書館・博物館・美術館）の連携について（仮）」

前回会議では、中央図書館の連携事業や運営等の説明を聞き、意見交換した。
今回は博物館の連携事業や運営等の説明を聞き、情報交換・協議していきたい。

<メモ>

令和5年度連携事業一覧【博物館】

事業名		連携対象種別	連携施設・団体	連携内容・特記事項
3館コラボレーション事業 講師派遣等要請事業	公共施設、学校、関係団体、その他	図書館、美術館 市内公民館、図書館、小・中学校、高校、大学、社会福祉協議会、県内教育委員会、読売KODOMO新聞、各種関係団体等、41団体	各館の夏イベント共通点から「ちやいの夏休み」というテーマを設けたスタンプラリー 各種講座の講師、取材協力等	
社会体験研修受入事業	学校	岡崎小学校、鶴巻小学校	教員による鳥の手羽先骨格標本作体験(生物)、教員による宇宙飛行士選抜試験体験(天文)など	
博物館実習受入事業	その他	神奈川県大学ほか8大学	近隣、受入実績のある大学へ実施要綱送付後依頼を受け7日間の教育普及、展示制作実習	
職業体験実習受入事業	学校	市内中学校、近隣高校10校	生徒による各種体験体験(天文、考古、地質、生物、歴史、市史)	
学術グループ活動事業	関係団体	神奈川県植物誌調査会 湘南ブロック、神奈川県キノコの会	神奈川県植物相解明目的で活動し会員30名が定期的に資料整理し博物館に寄贈 神奈川県キノコ類の観察調査目的で市とその隣接地域で収集の標本を整理し博物館に寄贈	
プラネタリウム幼児投影事業	その他	近隣幼稚園・保育園等53園	園児・教師によるプラネタリウム投影観覧	
プラネタリウム学習投影事業	学校	県内小・中・高校22校	プラネタリウム投影観覧	
プラネタリウム投影事業	公共施設	金目公民館、豊田公民館	プラネタリウム投影観覧(公民館事業)	
教育普及活動事業	公共施設、学校、その他	近隣保育園、小・中・高・大学等36団体	園児・児童・生徒・学生・教員等による館内見学	

令和6年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会【大磯町会場】開催要項

- 1 目的 県内の各市町村の社会教育委員が一堂に会し、それぞれの地域での取組や社会教育の今日的課題について研究協議・情報交換することにより、資質の向上を図る。
- 2 テーマ ～心豊かなひとづくり、まちづくりのために～
大磯町第三次生涯学習推進計画の展開
- 3 日時 令和7年2月4日(火)13:30～16:15(13:00 受付開始)
- 4 会場 大磯プリンスホテル メインバンケットホール
〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 546 TEL0463-61-1111
- 5 主催 神奈川県社会教育委員連絡協議会
- 6 主管 大磯町社会教育委員会議
- 7 日程
 - 13:00～13:30 受付
 - 13:30～13:35 開会 司会進行;大磯町社会教育委員副議長
 - 13:35～13:50 式典
 - 開会の言葉;大磯町社会教育委員会議議長 鈴木 敦子
 - 主催者挨拶;神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 小池 茂子
 - 会場地挨拶;大磯町教育委員会教育長 府川 陽一
 - 来賓祝辞;神奈川県教育委員会教育局生涯学習課長 伊藤 聡
 - (舞台準備)
 - 13:55～14:25 アトラクション
NPO 法人 大磯ガイド協会 「ぶらり大磯～大磯の歴史・文化散歩～」
 - (舞台準備)
 - 14:30～14:50 人権講話
「自然豊かな大磯町と子どもたちのウェルビーイング」
大磯町社会教育委員 加藤理絵
 - 14:50～15:05 休憩
 - 15:05～16:00 事例発表
「大磯町第三次生涯学習推進計画の展開と課題」
 - ① 「子育て・家庭教育支援」についての展開と課題
 - ② 「青少年教育」についての展開と課題
 - ③ 「情報の一元化」についての展開と課題
 - 16:00～16:10 質疑応答
 - 16:10～16:15 閉会の言葉;大磯町社会教育委員

**令和7年度
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会
開催概要（案）**

- 1 大会スローガン
別紙（案）
- 2 研究主題
別紙（案）より1案選定
- 3 趣 旨 事務局で草案作成
- 4 開催日 令和7年11月20日（木）・21日（金）
- 5 主 催/共 催
一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
- 6 参加予定人数
700名 ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
・ 同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・
社会教育に関心のある方
- 7 開催地（横浜市）
【1日目（全体会）】
◎関内ホール（大ホール） 【関内駅徒歩6分】
【2日目（分科会）】候補地
◎関内ホール（小ホール） 【関内駅徒歩6分】
○神奈川近代文学館（講堂） 【元町・中華街駅徒歩10分】
○横浜情報文化センター（情文ホール） 【日本大通り徒歩1分】
○横浜市技能文化会館（ホール1） 【関内駅徒歩5分】
○横浜美術館（レクチャーホール） 【みなとみらい駅徒歩5分】
○かながわ県民センター（ホール） 【横浜駅徒歩10分】
○神奈川近代文学館（小ホール） 【元町・中華街駅徒歩10分】
（神奈川公会堂、日本丸メモリアルパーク訓練センター）
- 8 参加費 4,000円（参加資料代等）

9 日程（予定）

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
第1日目 11月20日 (木)				受付	アトラクション	開会行事	記念講演	休憩	シンポジウム	閉会行事	分科会打合せ
第2日目 11月21日 (金)	受付	分科会 (5)	閉会・解散	*受付開始時間 第1日目 第2日目							

10 大会内容

○第1日目（全体会）

・アトラクション

NP0 法人スローレーベル「スローサーカス」もしくは「関係映像放映」等

・開会行事

主催者あいさつ：小池会長

お祝いのことば：神奈川県知事

歓迎のことば：横浜市長

・記念講演

NP0 法人スローレーベル理事長 栗栖^{くりす} 良依^{よしえ} 氏

・シンポジウム

事務局で草案作成

・閉会行事

佐々木副会長の伴奏のもと、全員合唱

「ふりむけば ヨコハマ」

・来賓

神奈川県知事、横浜市長

神奈川県公民館連絡協議会会長、神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長

神奈川県社会教育協会会長

11 後援

神奈川県、横浜市

神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会

神奈川県社会教育協会

【今後の検討事項】

マスコミへの後援依頼を行うかについては検討。

（前回大会では、神奈川新聞社、テレビ神奈川、タウンニュース社の後援を受けた）

○第2日目（分科会）

・分科会テーマ

	分科会名	研究テーマ	主な研究・討議の視点（例）
1	地域の教育力の再生と社会教育委員の役割	地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の役割 ・住民の学習成果の還元と参画 ・地域教育資源の発掘と養成 ・ボランティア活動の意義と活性化 ・地域のネットワークの構築 ・防災を視点としたまちづくり ・地域コミュニティの活性化
2	次の世代につなぐ持続可能な社会	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流の促進 ・自然体験活動の充実と指導員養成 ・公民館・図書館・博物館の役割 ・社会教育におけるSDGsの取組 ・エシカル消費を意識した地域活動
3	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期からの切れ目のない支援 ・親の社会的なつながり ・地域における子育て支援体制 ・食育と子どもの生活習慣 ・家庭における読書活動 ・家庭教育支援アドバイザーの養成 ・ヤングケアラー対策
4	共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のウェルビーイングの促進 ・インクルーシブなまちづくり ・社会性や自立心を育み支援活動 ・子どもたちの生きる力の育成
5	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化 ・地域学校協働活動推進員の養成と活用 ・子どもの居場所づくり ・子どもの体験活動 ・学校教育等との連携・協働 ・地域教育資源の活用 ・社会教育施設の役割 ・社会教育士との連携・協働

※各分科会2事例（神奈川県以外から1事例＋神奈川県から1事例）

平塚市は寒川町と第3分科会を運営する。

会場は横浜情報文化センター（情文ホール）【日本大通り駅徒歩1分】

発表市町は未定

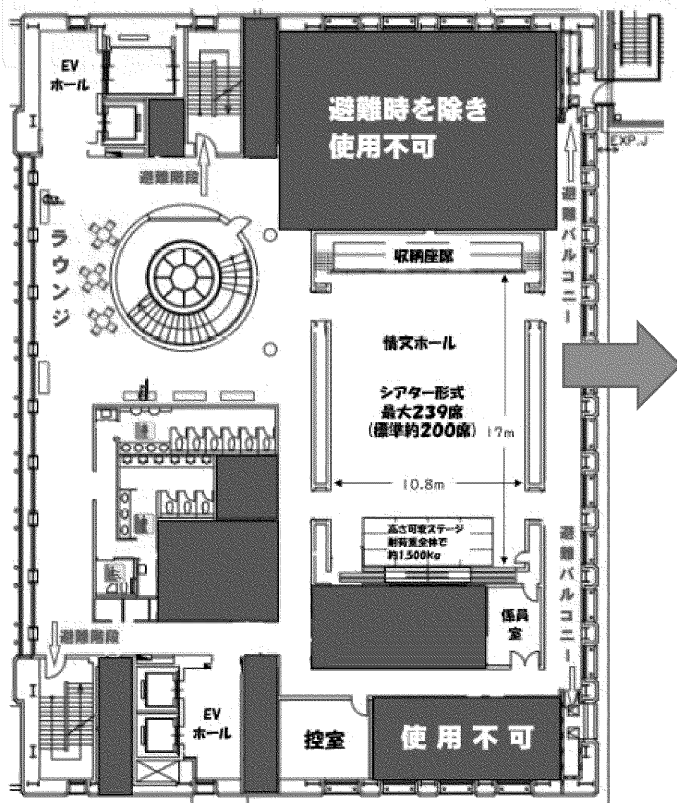
動員人数は各日、平塚市4名、寒川町3名を予定している。

運営内容は、一日目の会場準備（17時以降に30分～60分の見込み）、二日目の部会運営（午前中）

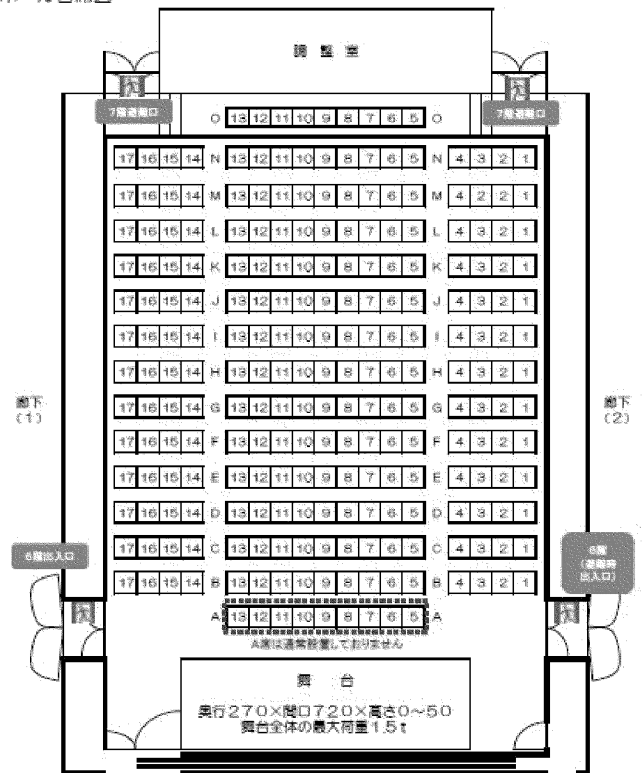
会場地図



6階レイアウト図



ホール客席図



情報ホール
(6F・7F吹き抜け)

- 吊りバトン (長さ8m、荷重150Kg)
- 舞台の高さは通常20cmです。